

東日本大震災 報道写真展

入場
無料

Great East Japan Earthquake Press Photo Exhibition

ともにある ともに進む



岩手県陸前高田市の仮設住宅に82歳の妻と暮らす90歳の男性は、別の町に住む息子に面倒をかけたくないと仮設での生活を続けている。「被災地は忘れ去られたようなもんだ」と話した（2013/7/8 岩手県陸前高田市）

2014 3.11(火) ▶ 3.30(日) 愛知芸術文化センター 9:00~22:00
地下2階アートプラザ前 名古屋市東区東桜1の13の2 3月17日は休館

主催：朝日新聞社、愛知芸術文化センター 協賛：三菱商事株式会社 お問い合わせ：愛知県文化情報センター 052-971-5511（内線531）



市民やボランティアが、市内の犠牲者数に匹敵する約3200個の灯籠に火をともし、追悼と復興を誓った (2013/12/5 宮城県石巻市)

3・11

悲しみは消えない 面影は消えない
それでも笑顔を それでも前を向く

「3・11」。忘れられない、忘れてはならない、その日。様々な思いを新たにされている方が多いと存じます。東日本大震災報道写真展の開催にあたり、被災された方々に、あらためて心よりのお見舞いを申し上げます。

復興はまだ道半ばです。ふるさとを離れ、帰れるめどの立たない人々がいます。福島第一原発事故はいままだ終わりが見えません。新聞社としては震災のこと、被災地のことを伝え続ける使命があると考えています。その一つの形が報道写真展です。

あのとき何が起きたのか、いま被災地がどのようになっているのか。記者が撮影した写真から、あらためて震災のもたらしたものを考えるとともに、復興に向けての思いを新たにしていだければと考えます。



津波で多くの町職員らが犠牲になった防災対策庁舎の慰霊祭で、献花を待つ人たち (2013/11/2 宮城県南三陸町)

会場へのアクセス

愛知芸術文化センター 地下2階アートプラザ前

地下鉄	東山線または名城線「栄」駅下車、徒歩3分 (オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
名鉄	瀬戸線「栄町」駅下車、徒歩3分 (オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)
自動車	名古屋高速東新町出口から3分

お問い合わせ：愛知県文化情報センター 052-971-5511 (内線531)

